がんばっぺし！釜石!!

釜石東中の2年生が地域応援ポスターを制作しました

釜石東中の2年生40人が例年行っている職場体験に代わり、職場インタビューを行いました。生徒一人一人が地域で仕事をしている人の「手」をテーマに取材し、学習のまとめとして1枚のポスターを制作しました。

震災から間もなく11年。当時3歳だった子どもたちは、着実に前へ前へと歩みを進めています。

志ある2人のなでしこ

人の人生に関われる仕事に

小澤空泉（そらみ）さんは、小学1年からサッカーを続けるなでしこ。そんな小澤さんは、今回のインタビューで、さまざまな人と関わる仕事が見たいと栗林小学校を取材しました。インタビューで印象に残ったことは「先生が子どもたちの人生に関われると言っていたこと。将来は、自分で発信したり、人の人生に関われる仕事につきたいです」生まれてから住んできた鵜住居の印象は「震災がきっかけで、より繋がりが強くなったと思います。今回のインタビューでも感じたけど、日ごろから地域の人に支えられてると実感しています」中学生とは思えないほど、堂々と話す姿が印象的でした。

自分も正義のヒーローに

小澤さんの誘いで、小学3年からサッカーを始めた佐々木恋雪（こゆき）さんの将来の目標は、保健師になること。今回、市の保健師にインタビューを行った印象は「コロナのワクチン接種でも保健師さんが働いているのは、知りませんでした。みんなのことを陰で支えていて、正義のヒーローだと思いました」鵜住居の印象を尋ねると「たくさんの職場があることやラグビーのスタジアムができたことで、復興がどんどん進んでいると思います。地域の皆さんにも感謝を伝えたいです」佐々木さんが、市民の健康を支えてくれる日も遠くないかもしれませんね。

佐々木恋雪さん　小澤空泉さん

取材を受けた事業者の声

制作した地域応援ポスター
鵜住居郵便局などに掲示されています

こんとき　紺野時男さん

東中の生徒さんは、冬になると道路の雪かきをしてくれたり、地域のための活動もしてくれていて、ありがたいです。普段中学生と話す機会もなかなか無いので、元気をもらえました。地域のいいところをたくさん吸収して、やりたいことを見つけてほしいです。私たちも釜石・鵜住居を元気にするために一生懸命営業します！

第３回公民館対抗ニュースポーツ交流大会

12月４日［釜石市民体育館］

ホールポストに狙いを定めます（グラウンド・ゴルフ）

市内８つの公民館が室内グラウンド・ゴルフ、スカットボール、輪投げで競う大会が開催されました。この大会は、ニュースポーツを通じて、市民の親睦を深めると共に健康増進と健康寿命の延伸を図るために開催され、当日は93歳の最高齢参加者を含め、150人が参加しました。コロナ禍で多くのイベントが中止されてきた中、久々のイベントで応援にも力が入り、会場内は熱気と歓声に包まれました。熾烈（しれつ）な争いの結果、小佐野公民館が初の栄光に輝きました。

令和３年度岩手県食育貢献者表彰（知事表彰）伝達式

12月７日［市長室］

藤井茂さんは、小学校との協働により農業体験の機会を長年にわたり提供し、お米の栽培や収穫を通じて、地域の食文化の伝承に貢献されたことから表彰されました。

田植えや稲刈りを体験し、自分たちで収穫したお米を味わった児童は、自然の恵みに感謝し、農業や食への関心を深める貴重な機会を経験しています。

白山小での水田学習は昭和54年から始まり、40年以上継続しています

藤井さんは、農業体験を通じて児童に農業の楽しさを伝えています（写真右から２人目）

令和３年度スポーツ推進委員功労者表彰（文部科学大臣表彰）伝達式

12月13日［市長室］

市内小学校や各イベントでニュースポーツなどの普及活動を行っています

吉田千秋さんは、33年間にわたりスポーツ推進委員を務め、市内のスポーツ推進に多大な貢献をされたことから、今年度県内で600人いる同委員の中で唯一のスポーツ推進委員功労者として表彰されました。吉田さんは「いかにスポーツを楽しんでやるかが大事。それが健康寿命を延ばすことにもつながる」と今後のさらなる市民へのスポーツの普及に向け、決意を述べました。

中妻公民館クリスマス発表会

12月16日［中妻公民館］

上中島こども園のぞう組（4歳児クラス）の16人がクリスマスのダンスと劇「おむすびころりん」を上中島復興住宅の住民に披露しました。園児らは、元気いっぱいに練習の成果を披露すると、その頑張りが届いたのか、サンタさんがサプライズで登場し、園児たちにお菓子をプレゼントしました。突然のサンタさんの登場に園児たちはどっと沸き立ち、笑みがこぼれました。かわいらしいダンスと踊りを見守った住民の皆さんにも笑顔があふれ、穏やかな年の瀬となりました。

園児たちは、日頃から地域の皆さんに見守られています